

スーパーグローバル大学（SGU）創成支援事業のロジックモデル（令和2年4月改訂）

背景

- ▶ 経済社会・高等教育のグローバル化
- ▶ 生産年齢人口の減少
- ▶ デジタル革命・イノベーション創発の必要性
- ▶ 都市一極集中と地方創生
- ▶ 存在感ある国づくり：高等教育外交

大学は国の成長を牽引する知的拠点としての役割が求められる

インプット

SGU予算 物品費、人件費・謝金、旅費、その他

自己財源 運営費交付金、学納金、寄附金 等

アクティビティ

- ① 教育・事務組織の再編
- ② 学内規程等の見直し
- ③ 教育プログラムの構築・実施
- ④ 海外大学のガバナンス・マネジメント等の事例調査
- ⑤ 研修（語学、FD、SD等）
- ⑥ 外国語による広報、情報提供
- ⑦ 多様な国籍の教員による授業の実施
- ⑧ シンポジウムの開催
- ⑨ 海外大学との連携協定 等

アウトプット

徹底した大学改革と国際化

- A 国際化関連**
- ・ 多様性[①⑦⑨]
 - ・ 流動性[①③⑦⑧⑨]
 - ・ 留学支援体制[①③④⑤⑥⑨]
 - ・ 語学力関係[③⑤⑥⑦]
 - ・ 教務システムの国際通用性[②③⑦⑧⑨]
 - ・ 柔軟な学事暦[②④⑥⑨]
- B ガバナンス改革関連**
- ・ 年俸制の導入[②④]
 - ・ 国際通用性を見据えた採用と研修[①④⑤⑥]
 - ・ 事務職員の高度化への取組[①④⑤]
- C 教育の改革的取組**
- ・ ナンバリング[②④]
 - ・ シラバスの英語化[⑥⑨]
 - ・ 英語民間試験の学部入試への活用[②]

初期アウトカム

ガバナンス[B]

- ・ 国際化のための学内意識の醸成
- ・ 国際化推進にプライオリティをおいた意思決定

組織[A、B]

- ・ SGU採択校としてのブランド化の進展
- ・ キャンパスの国際化
- ・ 人事、教務システムの整備
- ・ 事務職員の高度化
- ・ 外部資金・寄附金等の獲得による自走化の進展

教育・研究[A、C]

- ・ 教職員の多様化
- ・ 学生の流動性の向上（日本人学生の留学、外国人留学生の受け入れ、大学間学生交流）
- ・ 留学支援体制の構築・強化
- ・ 国際化に対応した学事暦の柔軟化
- ・ 質を伴った国際共同学位プログラムの展開（ジョイントディグリー等の開設）

「日本の大学」から「世界の大学」へ

中・長期アウトカム

大学の**体質改善**による**組織文化の変化**

国際化を先導する**グローバル大学を日本に創設**

- 外国人教員・留学生の受け入れ環境整備
- 日本人学生のグローバル対応力強化（語学力、国際感覚・教養）
- 国際交流・研究ネットワークの構築・拡大（共同学位の授与等）
- 産学連携、地域連携の強化

補助金終了後の自走化

SGUの成果普及

大学の国際競争力強化

高等教育の国際通用性の向上

SGU以外の大学

SGUの成果を踏まえ、各大学の特性・事情を踏まえた国際化の進展

高度な頭脳循環・優れた人材育成の基盤整備

インパクト

国の成長を牽引する知的拠点である日本の大学において、

- 異文化への寛容性を持って地球規模課題の解決や未来の創造に貢献しグローバルに活躍する人材、我が国の安全保障・外交政策に資する人材、日本経済を牽引・発展させる、イノベティブで付加価値を持った人材の輩出
- 各分野における世界第一線の研究に基づく技術革新
- 特色や強みを生かし、経済活動や地域社会の中での存在感の拡大
- 世界中から優秀な留学生が集い、人材のハブが形成され、我が国の国際化が進展

上記が絶えず生み出される「社会システム」を構築し、

- 高い教養と専門的能力の涵養による一人一人の豊かな生活の実現や、
 - 科学技術イノベーションを通じた技術革新による社会の持続的発展により、
- 人類の幸福に貢献

インパクト達成に向けた他の政策例

- 大学教育の質保証、情報公開
- リカレント教育の推進
- 社会人学生受入
- 雇用の流動化
- 初等中等教育との連携（SGH等）
- SDGs達成への取組の推進